（1）　明治20年創刊　第36062号　（第3種郵便物認可）　（日刊）

上毛新聞

〒371 前橋市古市町1-50-21 毛新聞社 ☎代表（0272）51-4311（代表）（6時以降）・休日相談 51-4343・4344 51-4342 51-4562 52-1548（販売）51-4347 52-1548（広告）51-4363 上毛新聞社 1996

伊香保温泉湯元 横手館

高崎音楽祭のライブ中継
交通情報や買い物ガイドも

FM開局のアンテナに

高崎商議所、10月に〝実験〟イベント放送

高崎商工会議所（児玉貢会頭）は、十月に開催される第六回高崎音楽祭に合わせて、高崎市内を受信エリアにしたイベント放送局「ラジオ高崎（仮称）」を開局する。期間は二週間余りだが、高崎観音山の観光センターをキーステーションに、音楽祭の模様や天気、交通情報、ショッピングガイドなど市民に身近な情報を集めて連日七時間放送する。同会議所は県内初のコミュニティーFM放送局として注目されているエフエム高崎（仮称）の開局準備を進めている。今回はその実験的な試みとされ、イベント放送を機にリスナーのニーズが高まれば、来年秋にも地域に密着した市民放送局〟を誕生させたい、としている。

来年にも地域放送局

イベント放送局を開局するのは、同会議所コミュニティFM放送調査研究委員会のメンバー。今月半ばに無線局免許申請書を郵政電気通信監理局に提出し、放送方法や番組内容などの具体的な計画を練っている。

同委員会によると、開局期間は高崎音楽祭（七月十四日開幕）に合わせ、七月から十二日までの十三日間。臨時送信所を高崎観音山の観光センターに設け、仮設アンテナを立てて、送信出力十ワで週日午後三時から十時まで放送する。放送内容は音楽祭ガイドやライブコンサートの生中継、オークション演奏などを中心に、さまざまな市民情報を考えている。

スタッフは高崎経済大の放送部員らがラジティア協力を要請。番組制作を市内の小・中学校や高校の放送部に協力を求め、学園だよりとして放送するほか、交通情報提供の強力手段としてコミュニティーFMの設置を望む声が高まる中、同会議所はイベント放送局の開局を目指して本格的な準備に取り組むことになった。

コミュニティーFM放送

市町村単位の狭い地域を対象に、地域に密着した情報を提供する放送メディアとして平成四年に制度化された。すでに全国に十九局が開局、準備や申請中を含め全域が送信エリアとなることになり、広告スポンサーの拡大につながるなど、採算面の問題なども解消される可能性も強まり、設置機運が高まっている。

流動する県政界検証 '95ダブル選 ～4～

二大政党制の潮流鮮明に

比例代表で「新進支持」 無党派層

公示直後には有権者の半数

「参院選の勝敗を左右する」と注目された四選挙区の立候補した四選挙区の存在。今回の選挙でどのような投票行動をとったのか。片桐庸夫・県立女子大助教授（政治学）は「無党派層は政治への関心はあるが支持政党のない層、政治に無関心な層の二つに分類される」としたうえで、「今回の選挙では無党派層を取り込んだ二大政党制の潮流が鮮明になった」と分析している。

無党派層

ある程度の票が投票に行き、無関心層は投票に行かず投票率を押し下げたようだ」と分析する。

それでは、政治に関心のある無党派層が支持した候補とはどこだったのか。

片桐助教授は「参院選の比例代表政党別得票数を見ると、新進党が約十七万五千票、社会党が約十四万六千票、自由民主党が約十二万六千票の順に続いており、現在の二大政党制の潮流が鮮明になった」とみる。

片桐助教授は「自由民主党が高い層で強く、社会党の票が低い層で弱いなど、選挙区ではそれぞれ特徴があり、永井良一社会政策本部事長（新進）には参院議員（六年八月）、いかず自由連合）氏（社会）や山本一太氏（自民）に流れたと見るべきだろう」と分析している。

公示直後には有権者の半数

「参院選の勝敗を左右する」と注目された四選挙区の立候補した四選挙区の存在。今回の選挙でどのような投票行動をとったのか。片桐庸夫・県立女子大助教授（政治学）は「無党派層は政治への関心はあるが支持政党のない層、政治に無関心な層の二つに分類される」としたうえで、「今回の選挙では無党派層を取り込んだ二大政党制の潮流が鮮明になった」と分析している。

無党派層

ある程度の票が投票に行き、無関心層は投票に行かず投票率を押し下げたようだ」と分析する。

それでは、政治に関心のある無党派層が支持した候補とはどこだったのか。

片桐助教授は「参院選の比例代表政党別得票数を見ると、新進党が約十七万五千票、社会党が約十四万六千票、自由民主党が約十二万六千票の順に続いており、現在の二大政党制の潮流が鮮明になった」とみる。

片桐助教授は「自由民主党が高い層で強く、社会党の票が低い層で弱いなど、選挙区ではそれぞれ特徴があり、永井良一社会政策本部事長（新進）には参院議員（六年八月）、いかず自由連合）氏（社会）や山本一太氏（自民）に流れたと見るべきだろう」と分析している。

初回から建設的な意見が相次いだ太田市のまちづくり委員会

「新庁舎」で意見交換

太田でまちづくり委

新市庁舎の建設をニ時凍結し、計画変更を進めている太田市は二十七日、同市民会館で初の「まちづくり委員会」を開いた。同委員会は清水聖義市長の諮問機関で、新庁舎のソフト分野への意見を出し合ってもらい、設計変更につなげる。

委員は清水市長の選挙公約の一つで